



小松 大成 議員
(無会派)

一括質問方式

難病患者への 支援策について

問.....

病気が原因が不明で治療法が確立されていない難病患者に対する医療費助成対策として、難病法が昨年1月から施行され、医療費助成の対象が拡大された。しかし、難病法施行前の診療を受けていた当事者からは、診療費が大幅に引き上げられたといった声が寄せられる。難病患者の多くが県中央部の大病院へ一日がかりの通院と

答.....

平成27年1月から「難病の患者に対する医療費等に関する法律」(難病法)が施行となった。この難病法の施行により本市における受給者数は、平成28年5月30日現在で217名となっている。この法はこれまで56

なっており、経済的、精神的負担も大きい。実態はどのようなものか。

疾病であった指定が306疾病に拡大されたことにより、カバーされる対象者が増えたこととあり評価できる。一方自己上限額を設定したこと、これまで自己負担のなかった患者へも負担を求めている。患者の経済的、精神的負担は相当なものとして認識しており、どのような支援策ができるのか検討する。

就学援助の実態について

問.....

就学援助は貧富にかかわらず、教育の機会均等を支える制度として重要な役割を果たしている。当市の「準要保護者」の認定は「生活保護基準の額の1.2倍未満」となっている。また「新入学児童生徒学用品費」の支給が7月となっているが妥当なものか、見解を伺う。

答.....

本市における、平成28年度現時点での就学援助対象人数は、小学生及び中学生合わせて221名で全児童・生徒数に対する援助率は11.5%となっている。「準要保護者」認定基準は、指摘のとおりであるが、その援助については全額市費による負担となることから

慎重に検討する。また、「新入学児童生徒学用品費」の支給が7月となっていることについても、速やかに支給できよう検討する。



速やかな就学援助を期待する

遊休農地の解消の一助ともなる 中山間地の農業振興について

問.....

農地遊休地の多くは日陰や湿地が多くあるが、現実の日本農政では当然の成行き。

肉食文化のアメリカ合衆国等では、食のビタミン不足等を賄うために、野菜の中ではビタミンCの栄養価が一番高いクレソンを、周辺国から輸入して食している現状に有る。野菜農家の私とすれば、これほど貴重な野菜とは知らずにいたことに弁解の仕様が無い。ホ

ウレンソウやピーマン、アスパラの作付経験は有るが、クレソンの栄養の高さを知らずにいました。

クレソンのビタミン栄養価は驚異的な高さで有り、野菜の王様で、栄養価は一位の地位は不動である。

クレソンを食する人々の肌色を白く輝かせ、体重も軽く美しくする健康美食野菜となれば、正に女性のための野菜と言える。更に、難病のガン予防に効果的となれば、

人類生存の必需野菜と証明され、今後の消費需要が急速に増えると予想される。

話は戻るが、以前に遠野市上郷町来内にて、地域おこし協力隊がクレソンを水田で栽培していたと聞いた。市内遊休農地解消に向け、クレソンを推奨したらどうか伺う。

答.....

平成22年から宮守町湯屋地区で転作作目として試験栽培を開始、試作品をバイヤーに送り評価を依頼し高い評価を頂いた。さらには高級レストランにも統括している。クレソンは細川議員ご指摘通り、他の植物と比較して生殖が強い、作付後の栽培管理等は水量の確認と、年二回程の害虫防除を推奨しており、手間がかからず農業初心者でも簡単に取り組める作物である。今後は安定した通年の出荷量を確保するため遊休農地などの解消も含め、栽培面積の拡大に努めたい。

また、農業振興課、六次産業推進本部等、総合力を生かして新規農業の参入に果敢に挑戦したい。



宮守町湯屋地区で栽培されているクレソン



細川 幸男 議員
(無会派)

一括質問方式